

千 種 地 区

世帯数 7,162 世帯
人口 14,326 人
男 7,827 人
女 6,499 人
令和 7 年 11 月 1 日現在

発 行

千種地区社会福祉協議会
発行責任者 鮎川 典雄
事務所 市原市千種 5-5-12
電話 080-5821-8546

ちぐさ地区社協だより

4号

新年おめでとうございます

皆さま、新年あけましておめでとうございます。
明るく平穏な新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。
千種地区社会福祉協議会は、一昨年 4 月に創立して以来、諸々の活動を進めて参りました。地域（子ども）食堂「わいわい」や、フードパントリー、子育てサロン「はなカフェ」やお困りごとへの「相談支援」などなど、この千種地区が少しでも住みやすい地域になれば幸いです。
また子ども見守り活動として、未就学児の子育て支援も継続して行っています。

本年は上記に加え、「高齢者生活支援活動」と銘打って、ちょっとした生活上の困りごとを支援するプログラムを実施しようとしております。
近々皆様にご案内できようかと思います。



千種地区社協の活動に関して、様々な方から従来に増してたくさんご支援を頂いております。地域食堂「わいわい」やフードパントリーについては、ご芳志に加えてお米を始め、種々の食品や生活雑貨などのご寄付をいただきました。
この場をお借りしてお礼申し上げます。

「子どもの笑顔が一番」を念頭に、今年一年が更に明るい一年になる様、活動を継続して参ります。
皆様のご支援を改めて宜しくお願い致します。

千種地区社会福祉協議会
会長 鮎川 典雄

千種フェスティバルに出店しました

11 月 2 日（日）、千種コミュニティセンターと、隣接する千種ふれあい公園で千種フェスティバルが開かれました。

私たちのちぐさ地区社協のブースでも、ポップコーン、チュロス、焼芋の模擬店を出し、予定した数量をすべて完売しました。

これは歳末たすけあい運動の一環の、福祉バザー（代替）行事として行われたもので、その売上金 76,600 円と、寄付金 25,045 円、合計 101,645 円は市社協の運動資金にあてられます。



ポップコーンの模擬店 200 袋売りました。



チュロスの模擬店 400 本があっという間に・・・



焼き芋 200 本にも長い列ができました。

ちぐさ地区社協は他にもこんなことを

1. 地域食堂 わいわい 今年も季節感 満載です



8月 スイカ割り
ねらいすまして見事に命中！



10月 ハロウィン
お菓子をくれなきゃ、いたずらするぞー



12月 クリスマス会
子どもたちより大人が夢中



12月 サンタとトナカイ、雪だるまのピアノ連弾
サンタさん がんばれー！

2. フードパントリー 地域の皆様のご寄付に感謝です





氏 名	担 当 地 域	氏 名	担 当 地 域
*立石 和夫	内出町会	*小倉 寿久	北青柳、青柳北３・４丁目
*林 功	宿町会	*加藤 進一	青柳台、千種５・６丁目
*阿部 カズエ	三ヶ郷町会	山下 博子	西青柳、青柳１～３丁目、千種７丁目
石渡 鉄男	柏原町会	和田 きく子	谷島野（北・西地区）
藤城 正巳	白塚市営住宅	福森 英一	谷島野（東・南地区）
*平塚百合子	白塚町会	市野 幸江	谷島野（東・南地区）
柴崎 尚美	千種１・２丁目	*阿良田直道	松ヶ島ニュータウン、松ヶ島１・２丁目
田仲 正道	千種３・４丁目	鶴岡 昌士	谷島野（北・西地区）
和田 清文	松ヶ島町会、松ヶ島ニュータウン	野崎 久恵	主任児童委員
深野 智子	青柳台、千種５・６丁目	嶋田 浩之	主任児童委員

へえ、そつなの

「土」のはなし

千種地域食堂「わいわい」のサツマイモ収穫は、昨年10月に大成功のうちに終わりました。

物を育てるのに必要な3要素は、土と水とお日様と言えるでしょう。ところで、この「土」とは改めて何でしょうか？ どうやってできたのでしょうか？ 子どもたちの素朴な質問を受けて早速調べてみました。

地球の誕生は約46億年前と言われていますが、土は今から45億年前に誕生したそうです。

その生い立ちは、地球上の岩石（鉱物）が粉々になったものと、シダやコケの先祖の古代植物が巡り合って化学反応（？）を起こして出来上がったものだそうです。



その後は枯れた植物や動物の死骸など有機物が、岩石という鉱物と複雑に反応しながら土になったといえます。

つまり鉱物と動植物が合体したものが土だそうです。

そして1cmの土ができるのにかかる年数はなんと100年、すなわち1mの厚さに1万年必要なのだそうです。

人類の登場はたった20万年前とされていますが、もしこの土がなかったらどうなっていたでしょう？

植物は存在していないだろうし、その植物やそれが育てて来た動物を糧にしてきた人類というものも存在し得ないということになります。

土ってえらいものなんだな〜と思わずにはいられません。

社協の主催事業予定(令和8年3月まで)

地域・こども食堂わいわい

毎月第2土曜日 10時～13時

千種コミュニティセンター 多目的室1 参加費100円

困り事相談室

毎月第1水曜日 10時～12時

ちぐさ地区社協事務所（旧弥塩道）

はなカフェ(子どもでサロン)

1/26(月)、2/16(月)

10:30～11:45 千種コミュニティセンター こどもルーム

(今までの開催場所 旧弥塩道から変更)

フードパントリー(要予約)

3/28(土) 10:00～11:30

千種コミュニティセンター調理実習室

ご寄付をありがとうございました



大塚志津雄（青柳）様 新品毛布6枚

弘教寺（姉崎）様 果物、ジャガイロ、菓子一式

匿名（千種3・4丁目） お米30kg

匿名（柏原） お米30kg

小泉 学（柏原）様 みかん1箱

野崎 芳江（青柳）様 サツマイモ

編集後記

ちぐさ地区社協で月に1回、第2土曜日に開いている地域食堂「わいわい」では、小中学校の児童を中心に、時にはお年寄りの参加も交えて食事を提供しています。

お年寄りの中には、子どもたちにミサンガの作り方を教えたり、子どもたちとの会話を楽しんだりする方もいらっしゃいます。

お年寄りとあまり話したことのない、核家族の子もいるはずで、子どもたちにも良い経験なのかなと思います。

今号で紹介している「わいわい」では、スイカ割りやハロウィン、クリスマスなどの季節のイベントを、子どもたちに喜んでもらえるよう、様々な趣向や仮装を地区社協のスタッフが準備しました。

子どもたちに喜んでもらい、楽しい「わいわい」にするためなのですが、仮装やハンドベルの担当スタッフは、子どもたち以上に夢中になって楽しんでいました。

